

水受容器 据付及び取扱説明書

4 5 3 5 9 0 0 1

(別売) 排水ホースセット JPK04900

(別売) 水滴防止パッキン RP-07 / JPR00900

- このたびは、**GROHE** 製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

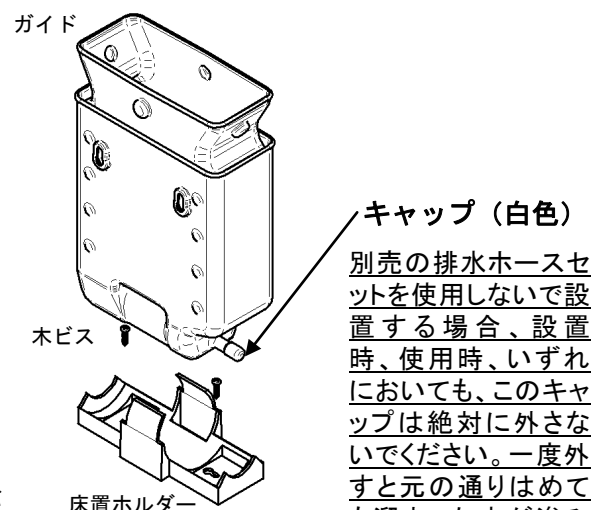
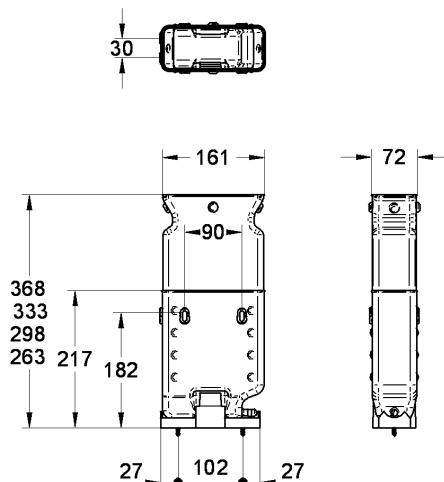
使用条件

- 水が溜まったか点検出来るように、必ず確認できる位置に取り付けてください。
- 排水金具及び止水栓は、水受容器の設置に支障のない位置にしてください。
- 水受容器は水栓金具の真下に設置することをおすすめします。また、設置場所を加味して適正な位置を選ばないと、水栓金具の引き出しホース及び水が容器に入らないことがあります。
- 壁付、床置を選択できますが、水栓金具によってはどちらかでしか取り付けられないことがあります。

据付前の注意

- 別売の排水ホースは、使用しない場合と使用することを選択できるようになっております。お客さまとご相談のうえ、設置場所等の条件などを考慮し、いずれか選択してください。
- 水栓金具の引き出されたホースは、水受容器からはみ出ないようおもりで長さを調整してください。
- 水受容器は通常縦向きに設置します。水栓金具及び設置場所によっては横向きで使用してください。

完成図



※排水ホースは、設置場所によっては使用しない場合がございます。その際はキャップ仕様になります。
※壁付の場合は、床置ホルダーは使用いたしません。

キャップ (白色)
別売の排水ホースセットを使用しないで設置する場合、設置時、使用時、いずれにおいても、このキャップは絶対に外さないでください。一度外すと元の通りはめでも溜まった水が滲み出すことがあります。

ご使用方法

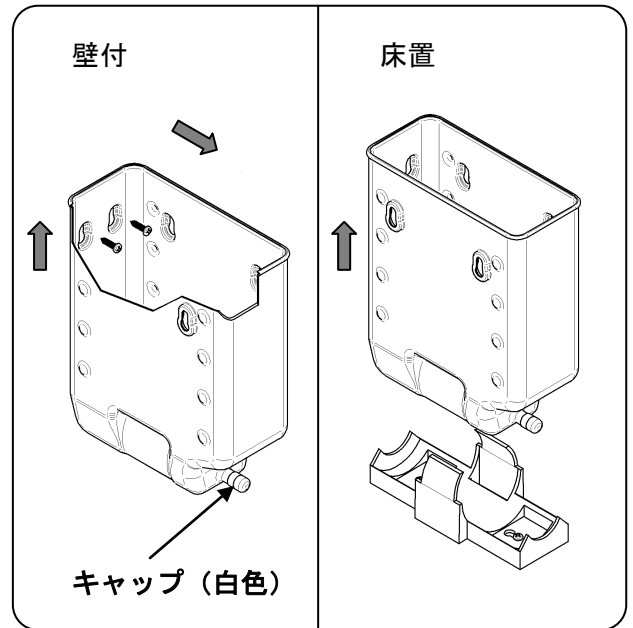
取り外し

壁付の場合

- ①木ネジをドライバー等で左回しにゆるめてください。
- ②水受容器うら面（横向きの場合は側面）の取り付け穴に木ネジがくるよう上にあげてください。
- ③水受容器を手前に引き出し、取り付け穴から木ネジを外してください。
- ④水は取り付け穴がない方向から排出してください。
※取り付けは逆の順序で行なってください。
※下記の排水ホースセットを組み付ける以外の目的ではキャップは絶対に取り外さないでください。一度外すと元の通りはめても溜まった水がしみ出すことがあります。

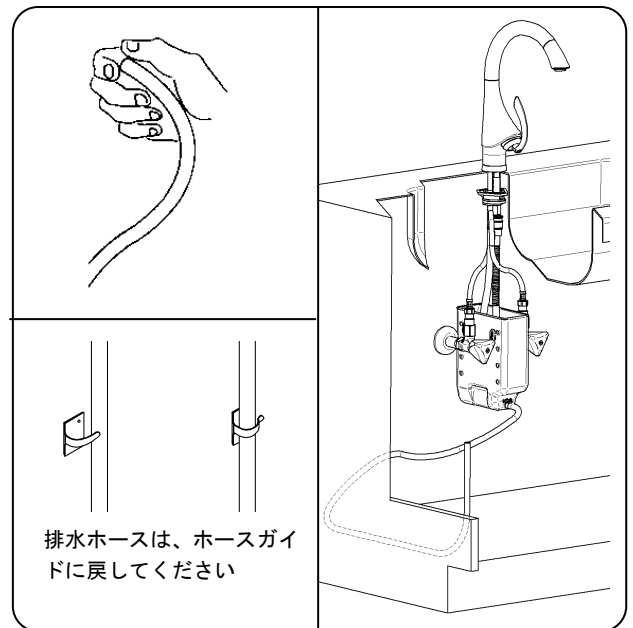
床置の場合

- ①水受容器を手前に倒しながら持ちあげ、上に取り外してください。
- ②水は取り付け穴がない方向から排出してください。
※取り付けは逆の順序で行なってください。
※下記の排水ホースセットを組み付ける以外の目的ではキャップは絶対に取り外さないでください。一度外すと元の通りはめても溜まった水がしみ出すことがあります。



排水ホースセット（別売） JPK04900

- ①水受容器の水を排出させるため、別途桶などをご用意してください。
- ②排水ホースの口を親指等で漏れないよう押えます。
- ③キャビネット内を濡らさないように、排水ホースおよび水受容器の水は桶などで受けてください。
- ④排水が完了しましたら、ホースガイドに戻してください。
※排水ホースがホースガイドによって固定されていないと、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
※月に一回程度の点検を行なってください。短期間に容器内に水が溜まる場合は、水栓の故障が考えられますので、販売店、取り付け店へお問い合わせください。
※排水ホースセットを使用しないで設置する場合、設置時、使用時いずれにおいても、**キャップ**は絶対に取り外さないでください。一度外すと元の通りはめても溜まった水がしみ出すことがあります。



据付手順

取り付け位置の参考図

水受容器の位置は、以下の注意事項を守って取り付けてください。

- 水受容器は水栓金具の真下にする。
- 給湯管（湯側止水栓）は水受容器の左側。
- 給水管（水側止水栓）は水受容器の右側。
- 排水金具は水受容器に干渉しないこと。
- 排水栓を作動させる棒にホース、おもりがむやみにぶつからないこと。
- ホース、おもりはスムーズに水受容器に入ること。
- ホースは水受容器の中でたるまないこと。

※参考図の寸法は一般的な数値になっていますので、必ず現場にて検証してください。

横向き

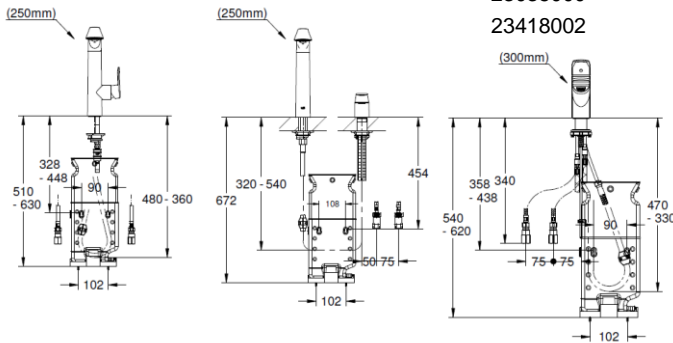
32177000

3289400J

33254002

23035000

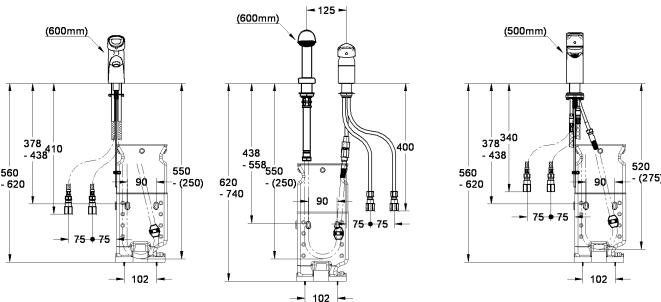
23418002



3230400J

32908001

33254001



縦向き

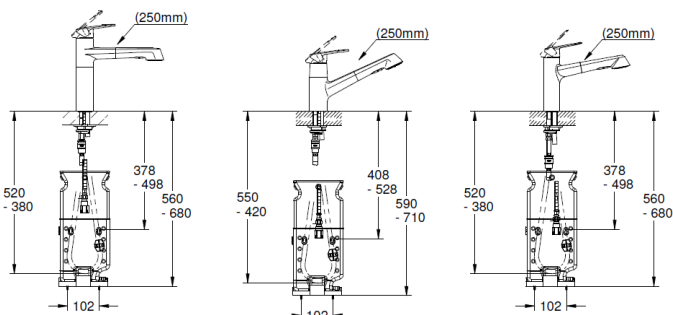
33972002

32947002

3225720J

31390002

JP339100



横向き

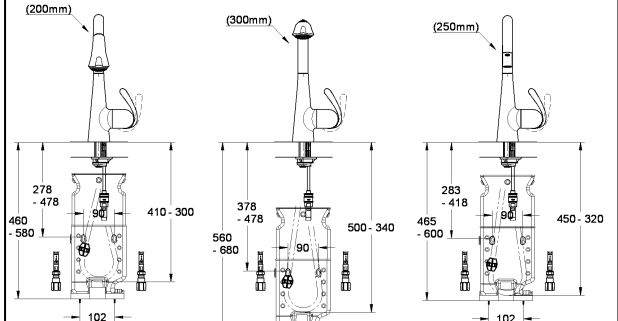
3229400J

3255300J

32297000

3229410J

31097000

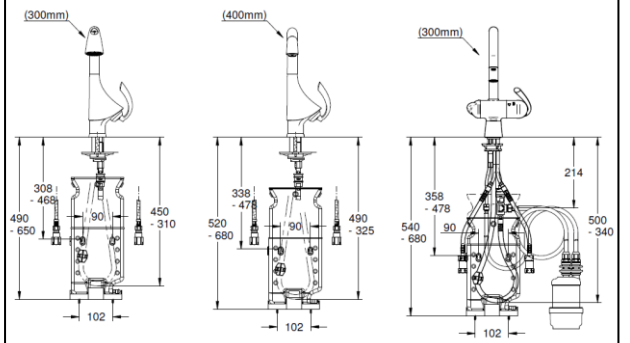


32668000

3278600J

JP192600

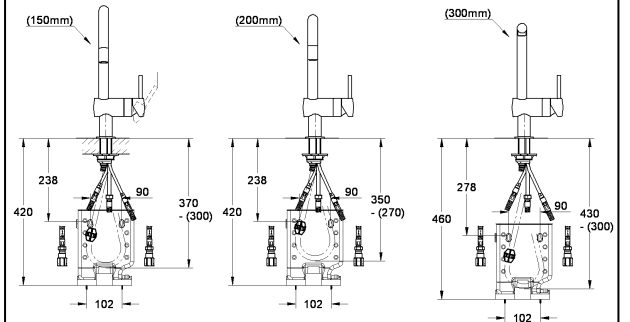
32782SDJ



31095000

31096000

31094000



縦向き

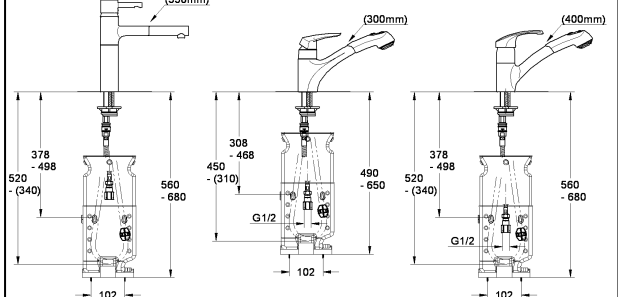
32235000

32358001

32998SDJ

JP202800

33972000



据付手順

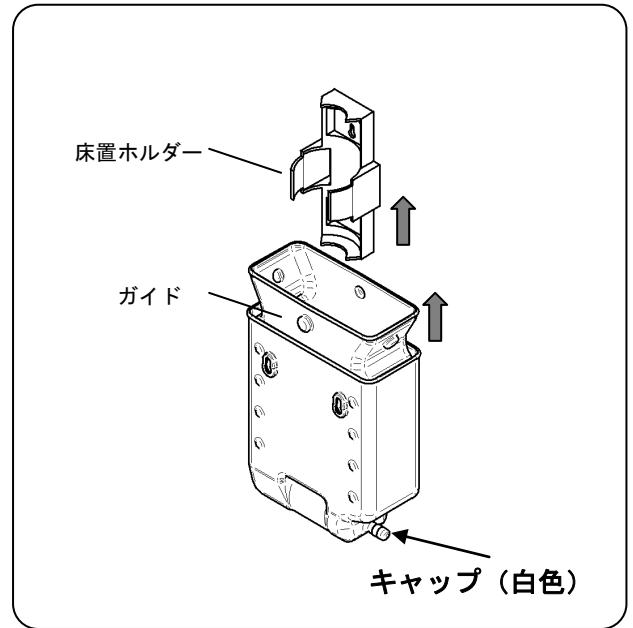
1. 取り付け前の準備 (図1参照)

- ①床置ホルダーを容器より取り出してください。
- ②ガイドを容器より引き抜いてください。
※床置ホルダーの袋には木ビスが付属しております。
取り付け前に確認してください。
※床置ホルダーなど壁付け等により使用しない部材は、据付完了後に地方自治体の規則に従って破棄してください。

材質

- プラスチック
「床置ホルダー、PP」
「ガイド、PE」「キャップ、PVC」
- 金属
「木ビス、ステンレス」

図1



2. 設置位置の検証 (図2参照)

水受容器は、壁付、床置、それぞれ縦向き、横向きに取り付けできます。

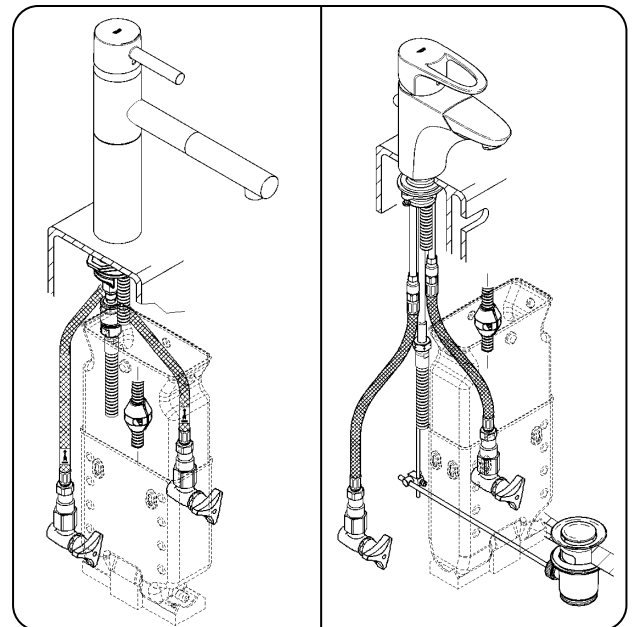
取り付け前に、水栓金具の引き出しホースがスムーズに引き出せること。他の設備に干渉しないこと位置を検証してください。

- ①水栓金具のできるだけ真下の位置。
- ②引き出しホースがきちんと収納できる位置。
- ③排水金具に干渉しない位置。
- ④洗面器やシンクに干渉しない位置。
- ⑤止水栓に干渉しない位置。

※排水ホースセットは別売で、「使用しない」「使用する」を選択できるようになっております。お客さまとご相談のうえ、設置場所等の条件などを考慮し、排水ホースが必要な場合別途ご購入をお願いいたします。

※排水ホースセットを使用しないで設置する場合、キャップは絶対に外さないでください。一度外すと元の通りはめても溜まった水がしみ出すことがあります。

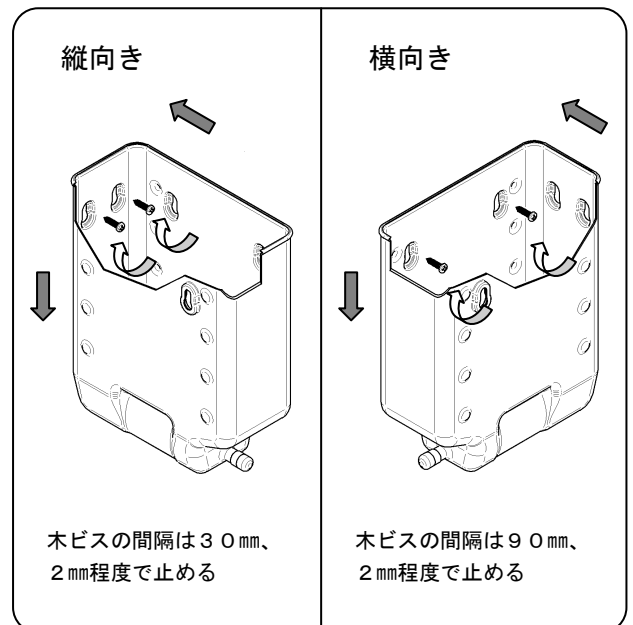
図2



3. 壁に取り付ける (図3参照)

- ①水栓金具の真下でホースがきちんと収納できる位置を検証してください。
- ②取り付け位置に水受容器をあてて、エンピツ等でビスの取り付け位置をけがいてください。取り付け位置の木板に十分な厚み (10mm 以上) の厚みがあることを確認してから作業してください。
- ③床置ホルダーに付属している小袋から木ネジを取り出し、補強の裏板に30mm巾 (横向きの場合は90mm) で木ネジをドライバー等で右回しにねじ込んでください。
- ④木ビスは完全に締めないで、2mm程度開いた状態にしてください。
- ⑤水受容器うら面 (横向きの場合は側面) の取り付け穴に木ネジを差し込んで、下にさげてください。
※洗面器やシンク、排水金具と干渉する場合は、床置にするなど再度、設置位置の検証を行ってください。
※キャップは絶対に取り外さないでください。一度外すと元の通りはめても溜まった水がしみ出すことがあります。

図3

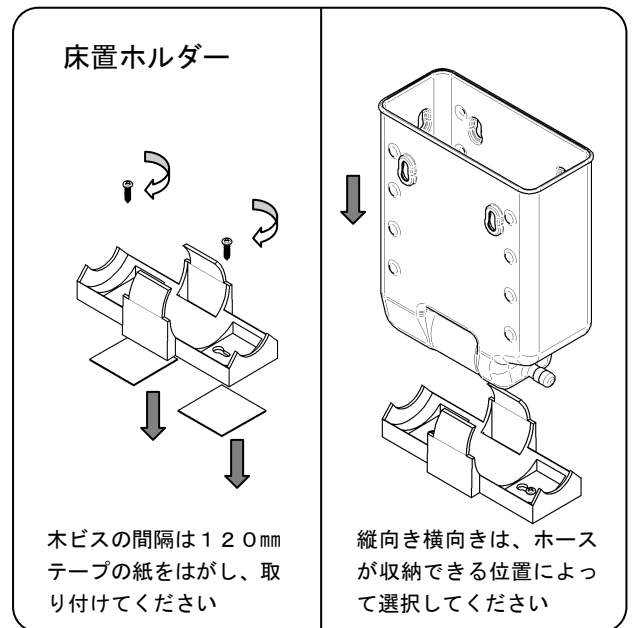


据付手順

4. 床に取り付ける (図4参照)

- ①床置ホルダーに容器を手ではめ込んでください。
- ②水栓金具の真下でホースがきちんと収納できる位置を検証してください。
- ③床置ホルダーが動かないよう手で固定し、容器を手前に倒しながら持ちあげ、上に取り外してください。
- ④取り付け位置に床置ホルダーをあてて、エンピツ等でけがいてください。
- ⑤床置ホルダー底部の接着テープをはがして取り付けてください。
- ⑥補強の裏板に102mm巾で木ネジをドライバー等で右回しにねじ込んでください。
※洗面器やシンク、排水金具と干渉する場合は、床置ホルダーを横向きにしてみてください。または、再度、設置位置の検証を行ってください。
※キャップは絶対に取り外さないでください。一度外すと元の通りはめても溜まった水がしみ出すことがあります。

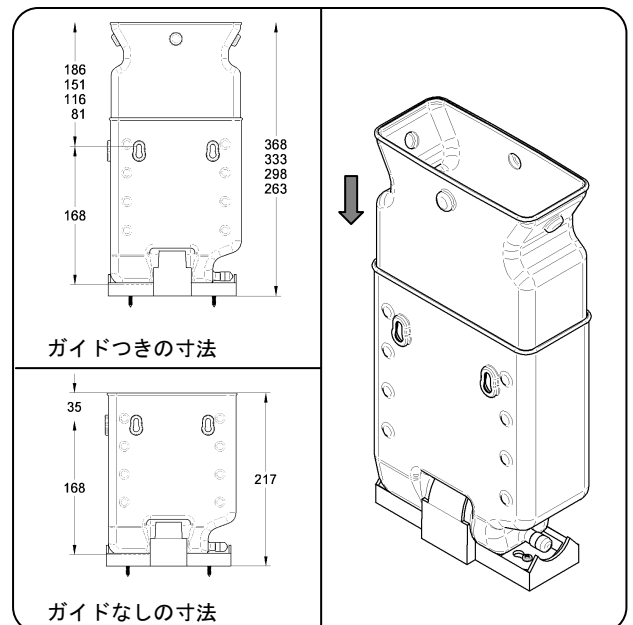
図4



5. ガイドを取り付ける (図5参照)

- 付属のガイドは、水栓金具のホースをきちんと収納できるよう付属されております。
設置場所または水栓金具によっては、必要ない場合もありますが取り付けをおすすめします。
- ①ガイド付の最大寸法は368mm。ガイドなしの最小寸法は217mmとなります。
 - ②ガイドは35mm間隔でストップする位置で調整してください。
※ガイドを使用しない場合は、据付完了後に地方自治体の規則に従って破棄してください。

図5

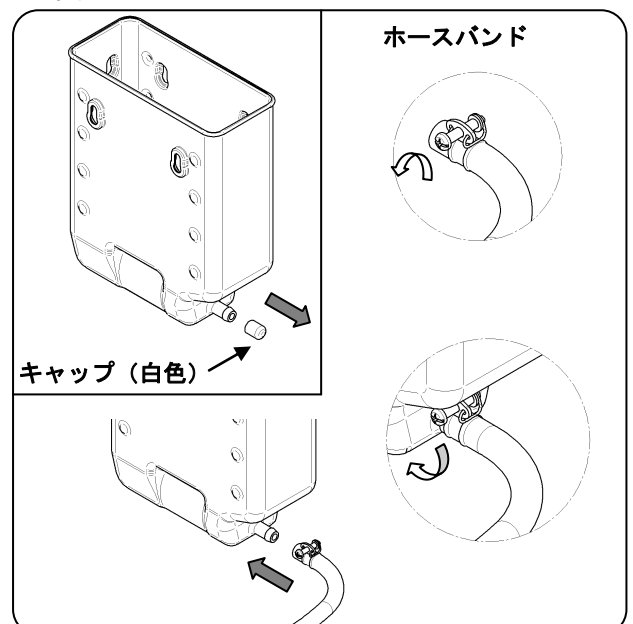


排水ホースセット (別売) JPK04900

1. 排水ホースの取り付け (図6参照)

- ①ホースバンドの止ビスをドライバー等で左回しにゆるめてください。
- ②キャップを容器のニップルより取り出してください。
- ③排水ホースにホースバンドをはめ込んでください。
- ④容器のニップルに排水ホースを根元まで差し込んでください。
- ⑤ホースバンドの止ビスをドライバー等で右回しにねじ込んでください。
※排水ホースと水受容器の接続部分のホースバンドが十分に締め付けてあるか確認してください。ゆるみがある場合は、再度締め直してください。
※キャップは、据付完了後に地方自治体の規則に従って破棄してください。

図6



据付手順

2. 排水ホースの位置 (図7参照)

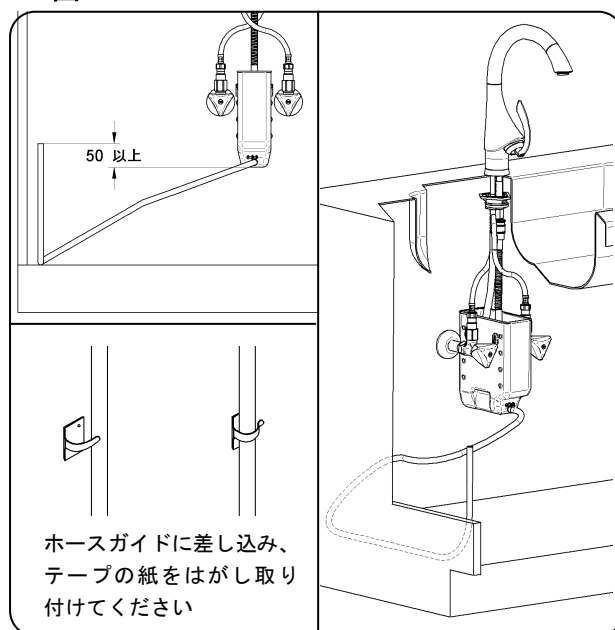
排水ホースは図のように容器に水が溜まれば、お客さまが分かる位置にしてください。

- ①排水ホースの、よじれやクセを直してください。
- ②キャビネットの手前にくるよう排水ホースを伸ばしてください。
- ③排水ホースの先端を上へ伸ばし、容器の水が常に流れでないうよう50mm以上高くしてください。
- ④排水ホースガイドで、排水ホースを二箇所固定してください。

※排水ホースの先端より水が溢れる場合は、水栓金具のホースのゆるみ、破損が考えられます。排水ホースの役割をお客さまに説明してください。

※排水ホースは排水口に接続しないでください。漏水で、悪臭の原因、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

図7



水滴防止パッキン (別売) RP-07 / JPR00900

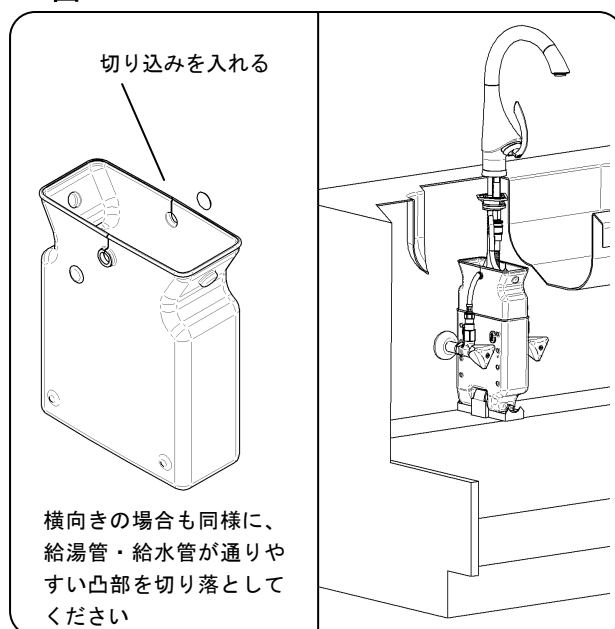
1. ガイドの穴あけ (図8参照)

付属のガイドに、水栓金具の給湯管、給水管を通すことができます。

設置場所または水栓金具によっては、必要ない場合がありますが取り付けをおすすめします。

- ①ガイドの上部凸部をカーター等で切り落としてください。
- ②水栓金具の給湯管、給水管に差し込めるよう、ガイドの上面に切り込みを入れてください。
※切断面はきれいに仕上げてください。思わぬけがをすることがあります。

図8

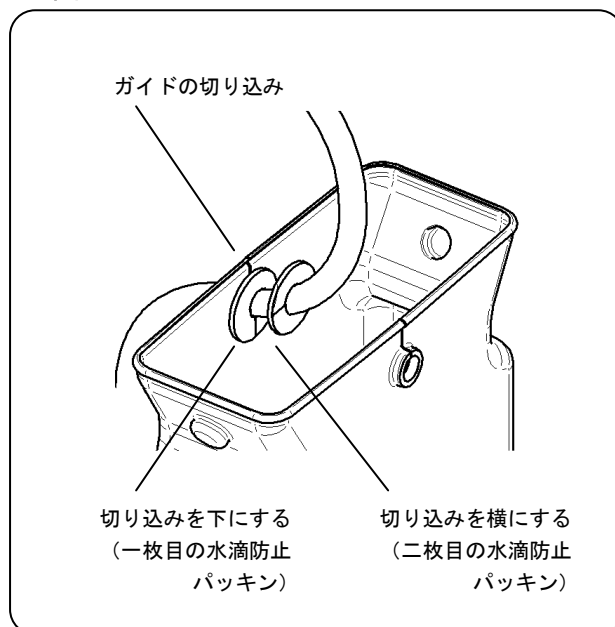


2. 水滴防止パッキンの取り付け (図9参照)

水敵防止パッキンはガイド内側の側面に沿うよう取り付けてください。

- ①パッキンの切れ目を開いて、給湯管 (給水管) に横から差し込んでください。
- ②パッキンは二枚一組になっております。二枚目は一枚目の切れ目からずらして差し込んでください。
- ③一枚目と二枚目に隙間がないよう重ねてください。
※パッキンを無理に開きますと、切れるおそれがあります。縦に広げるよう開いてください。

図9



安全上の注意

ご使用前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくご使用してください。

この説明書では、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠注意

点検確認できるように、容器を化粧パネル等で塞がないでください。

※水漏れの発見が遅れて、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

固定の際は、強度の高い床面、壁面（補強のうら板等）にしっかりと取り付けてください。

※水で重くなった容器が落下し、家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。

表 示	意 味
⚠注意	この指示を無視して、誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

また下に示す記号は説明書や製品に表示してお客様に安全に正しく製品をお使いいただくようにしたものです。内容をよく理解して正しくお使いください。



…………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です）



…………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です）

⚠注意



水受容器に強い衝撃を与えないでください。
（破損・事故で家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります）



水受容器を取り外す際は水栓金具の給湯管、給水管、ホースに無理な力が加わらないようにしてください。
（破損・事故で家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります）



別売の排水ホースセットを組み付ける以外の目的で、キャップは取り外さないでください。
（漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります）



排水ホースのゆるみ、排水ホースガイドから外れてないことを確認してください。
（漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります）



排水ホースは、ねじれや排水金具等からまってないことを確認してください。
（破損・事故で家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります）



水受容器に水が溜まってないか、月に一回程度の点検を行なってください。
（水漏れの発見が遅れ、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります）



短期間に水が溜まる場合は、水栓金具の引き出しホースのゆるみ、破損が考えられますので、水栓金具の引き出しホースを確認してください。
（漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります）

故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

スプレー接続部

3. 破損、ゆるみはないか？
水漏れはないか？

スプレー（ノズル）

6. ホースの引っ掛かりはないか？
ホースが水受容器にきちんと収納されているか？

ホース

1. よじれはないか？
水漏れはないか？

ホース接続部

2. 破損、ゆるみはないか？
水漏れはないか？

排水ホース（別売）

5. 満水になっていないか？
7. 接続部からの漏水は無いかな？

水受容器

4. 満水になっていないか？

キャップ

8. 接続部からの漏水は無いかな？

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 3
カウンター内より漏水する	1. 2. 3. 4. 5. 7. 8
スプレーが取り出せない	6

※点検箇所は、現象に関わらず定期的に点検してください。

水漏れの発見が遅れて、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

グローエジャパン株式会社

107-0061 東京都港区北青山2-11-3 A-PLACE 青山6階
TEL 03-5775-7500 FAX 03-5775-7611

541-0057 大阪市中央区北久宝寺町4-3-5 本町サミットビル3階
TEL 06-4708-6340 FAX 06-4708-6485

GROHE JAPAN ホームページ

<http://www.grohe.com/jp>